

法政大学大学院  
入学試験問題用紙

試験科目	人文科学研究科 史学専攻 修士課程(一般)・研修生	二〇二六年度 春季	試験時間 九〇分
専門科目			

〔注意〕 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。

《日本史分野志願者用問題》

〔問題〕

次の〔Ⅰ〕〔Ⅱ〕について解答せよ。なお〔Ⅰ〕〔Ⅱ〕は、それぞれ別の解答用紙に記入せよ。

〔Ⅰ〕 次の5問より希望する専攻分野に従って1問を選び、解答せよ。

- 1 〔別掲Ⅰ―1〕
- 2 〔別掲Ⅰ―2〕
- 3 〔別掲Ⅰ―3〕
- 4 〔別掲Ⅰ―4〕
- 5 〔別掲Ⅰ―5〕

〔Ⅱ〕 次の5問から3問を選んで説明せよ。

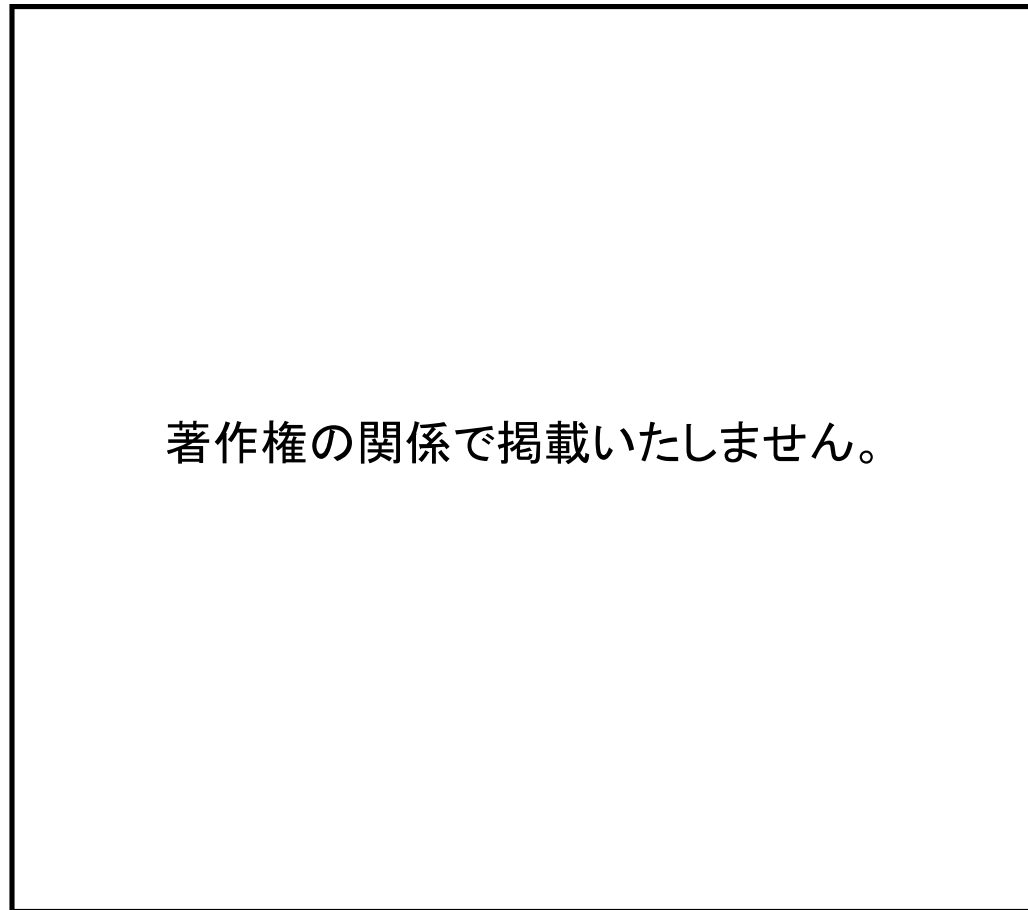
- a 加曾利貝塚
- b 不改常典
- c 天文法華の乱
- d 武家伝奏
- e 財閥

試験科目	人文科学研究科 史学専攻 修士課程(一般)・研修生	二〇二六年度 春季	試験時間 九〇分
専門科目			

〔注意〕 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。

《日本史分野志願者用問題》

〔別添I-1〕 次の図を見て、あとの問に答えよ。



著作権の関係で掲載いたしません。

図

※①②の方位は不同である。なお、古墳の名称は消去してある。

- 問1 図は古市古墳群とそこに所在する大型前方後円墳である。②に示した大型前方後円墳の名称を記せ。
- 問2 この大型前方後円墳の構造について図をもとに解説せよ。
- 問3 古市古墳群と並行する時期に造営された大坂湾岸の大型古墳群の名称を記せ。
- 問4 畿内の大型古墳群の変遷について解説せよ。
- 問5 前方後円墳研究の意義についてまとめよ。

【出典】 ①大阪府立近つ飛鳥博物館(二〇〇九)『平成二〇年度冬期特別展 百舌鳥・古市大古墳群展』  
②藤直幹・井上薫・北野耕平(一九七九)『河内における古墳の調査 大阪大学文学部国史研究室研究報告第一冊』臨川書店  
※出典の記載は過去問題の作成にあたり追記したものです。

試験科目	人文科学研究科 史学専攻 修士課程〈一般〉・研修生	二〇二六年度 春季	試験時間 九〇分
専門科目			

〔注意〕 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。

《日本史分野志願者用問題》

〔別掲I—2〕 次の史料を読み、問いに答えよ。

太政官符

応停止勅旨開田并諸院諸宮及五位以上買取百姓田地舍宅占請閑地荒田事  
右檢案内、頃年勅旨開田遍在諸国、雖占空闲荒廢之地、是奪黎元産業之便也、加之新立  
庄家、多施苛法、課責尤繁、威脅難耐、(a)且諸国姦濫百姓、為逼課役、動赴京師、好屬  
豪家、或以田地詐稱寄進、或以舍宅巧号充与、遂請使取牒加封立榜、国吏雖知矯饒之計、  
而憚權貴之勢、鉗口卷舌不敢禁制、(b)因茲出举之日託事權門不請正稅收納之時蓄穀私宅  
不運官倉賦稅難濟莫不由斯加之賂遺之所費田地遂為豪家之庄、姦構之所損民烟長失農桑  
之地、終無處於容身、還流冗於他境、(中略)宜当代以後勅旨開田皆悉停止、令民負作、  
(c)其寺社百姓田地各任公驗還与本主、且夫百姓以田地舍宅充寄權貴者、不論蔭贖不弁土  
浪、決杖六十、(中略)但元來相伝為庄家券契分明、無妨国務者不在此限、仍須官符到  
後百日内弁行具狀言上  
延喜二年三月十三日

- 問1 この史料の出典は何か。  
問2 傍線部(a)の部分を現代語訳せよ。  
問3 傍線部(b)の部分について、漢字仮名混じり文に書き下せ。  
問4 傍線部(c)の部分の意味を説明せよ。  
問5 この太政官符のもつ意義について、考えるところを記せ。

試験科目	人文科学研究科 史学専攻 修士課程(一般)・研修生	二〇二六年度 春季	試験時間
専門科目			九〇分

〔注意〕 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。

《日本史分野志願者用問題》

問題〔I〕 3

〔別掲I-3〕 次の文書の写真を見て、問いに答えよ。

著作権の関係で掲載いたしません。

問1 全文を句読点を含む読み下し文に書き直せ。

問2 最終行の「左兵衛督源朝臣」(足利直義)について説明せよ。

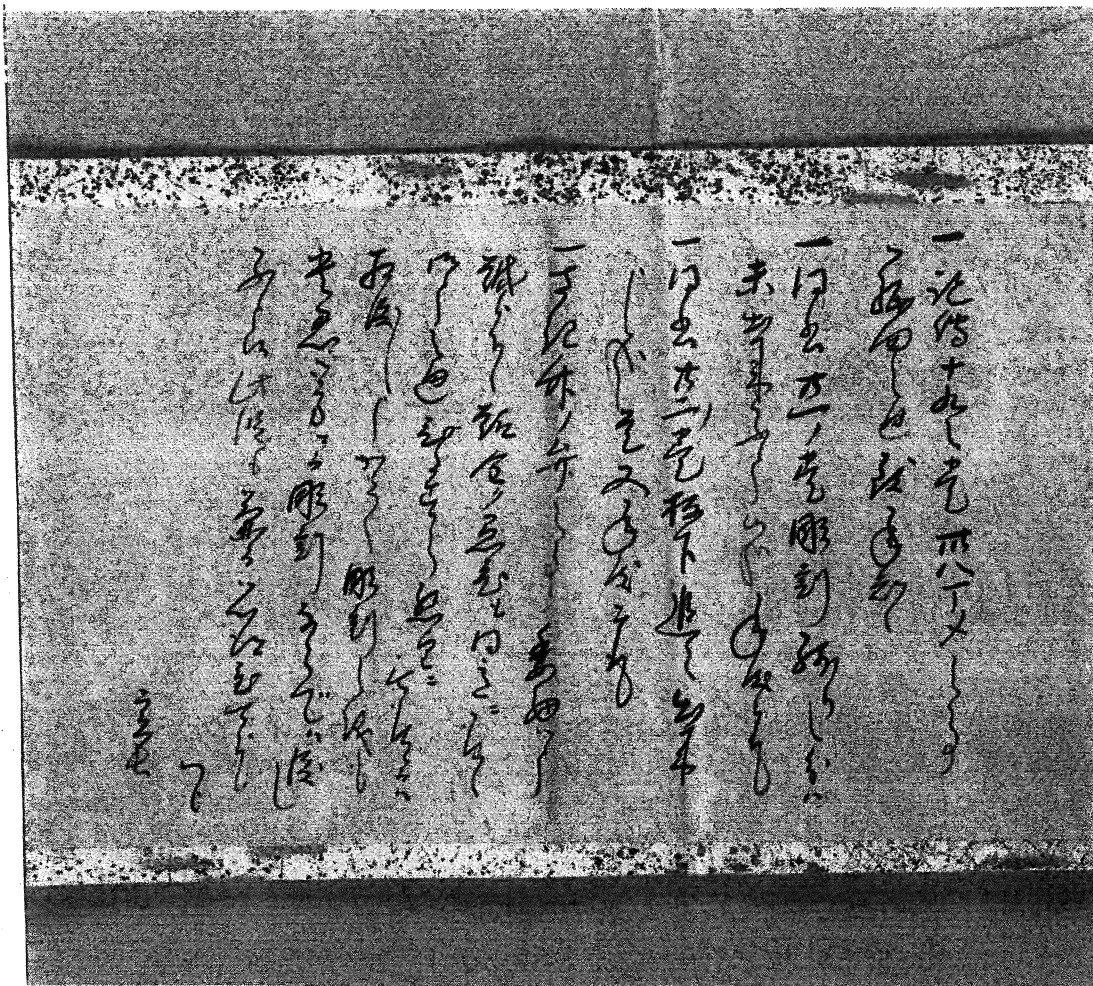
問3 本文書が出された貞和二年(一三四六)頃の社会情勢について説明せよ。

試験科目	人文科学研究科 史学専攻 修士課程〈一般〉・研修生	二〇二六年度 春季	試験時間
専門科目			九〇分

〔注意〕 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。

《日本史分野志願者用問題》

〔別掲I-4〕 次の史料を読んで、あとの問いに答えよ。



- 問1 全文を翻刻せよ。その際、改行はもとより漢字や仮名、句読点などは、すべて原文どおりとせよ。
- 問2 この史料の作成者は誰か。
- 問3 翻刻内容について説明せよ。

【出典】 国立国会図書館所蔵「本居先生書翰第一軸」所収、本居宣長書簡。請求記号WA25-95  
※出典の記載は過去問題の作成にあたり追記したものです。

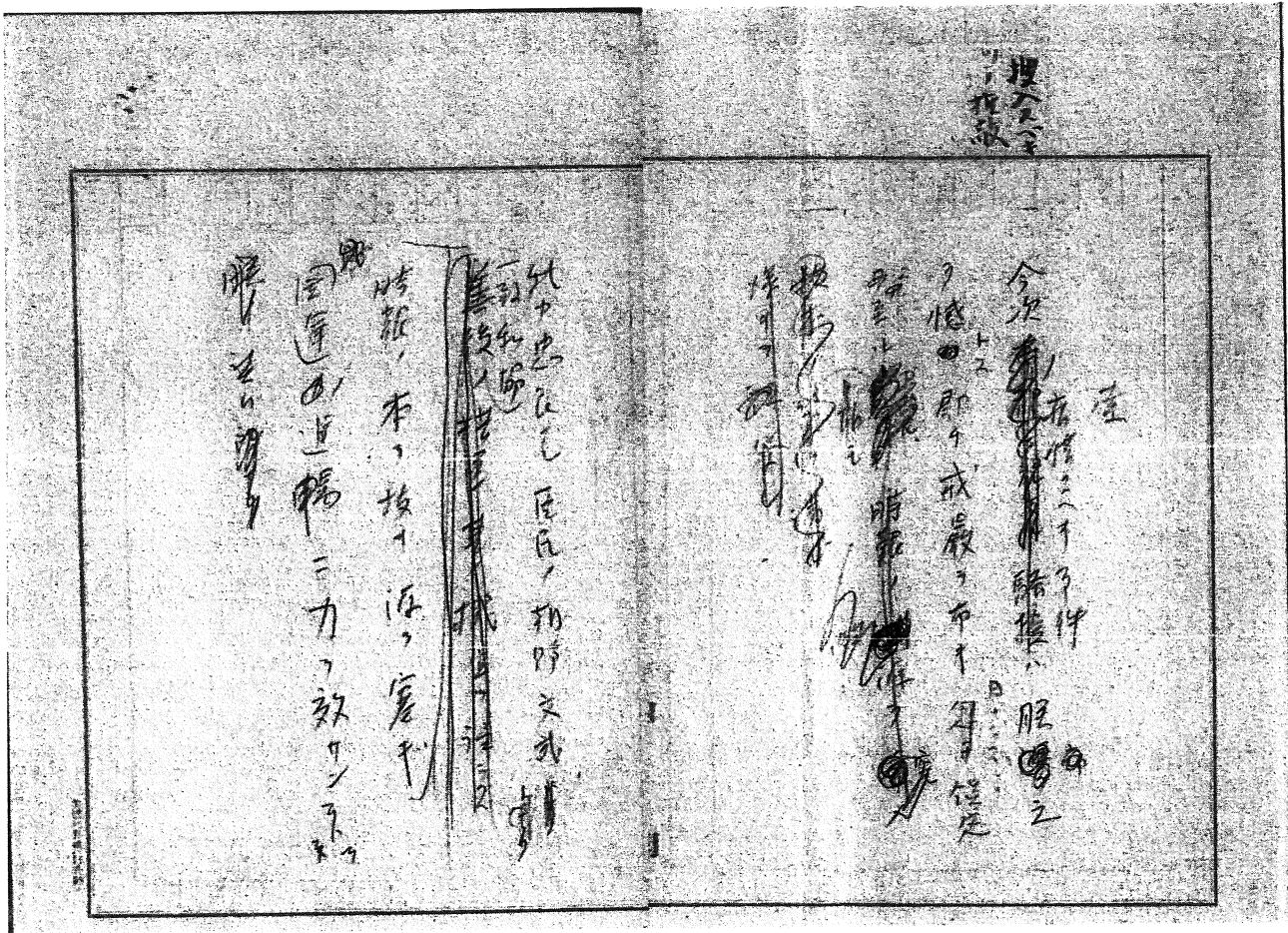
法政大学大学院  
人学試験問題用紙

試験科目	人文科学研究科 史学専攻 修士課程〈一般〉・研修生	二〇二六年度 春季	試験時間 九〇分
専門科目			

〔注意〕 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。

《日本史分野志願者用問題》

〔別掲I-5〕 次の史料を読んで、あとの問いに答えよ。



- 問1 枠内の全文を翻刻せよ（原文で抹消されている部分は翻刻不要）。
- その際、改行はもとより漢字や仮名、句読点などは、すべて原文どおりとせよ。
- 問2 この史料の主語は誰か、また何年のものか。抹消部分も含めて内容を検討せよ。
- 問3 翻刻内容について説明せよ。

【出典】 国立公文書館所蔵「第六十九回帝国議会開院式勅語案」（請求記号 類01944100）  
※出典の記載は過去問題の作成にあたり追記したものです。

法政大学大学院  
入学試験問題用紙

試験科目	人文科学研究科 史学専攻 修士課程《一般》・研修生	二〇二六年度 春季	試験時間
専門科目			九〇分

〔注意〕 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。

《東洋史分野志願者用問題》

次の2問のうち自分の研究計画に関係の深い方を選び、解答用紙に解答せよ。

1 「別掲 1」

2 「別掲 2」

法政大学大学院  
入学試験問題用紙

試験科目	人文科学研究科 史学専攻 修士課程《一般》・研修生	二〇二六年度 春季	試験時間
専門科目			九〇分

【注意】 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。

《東洋史分野志願者用問題》

〔別掲 1〕 次の文を読み、以下の問に答えよ。

著作権の関係で  
本文は掲載いたしません。

問一 右の文章を書き下し文にしてください。

問二 右の文章の傍線部に見える「賊」について具体的に説明してください。

問三 右の文章における裴士淹の玄宗に対する非難について、右の文章全体を前提とし、  
また歴史的な背景も含めて具体的に説明してください。

法政大学大学院  
入学試験問題用紙

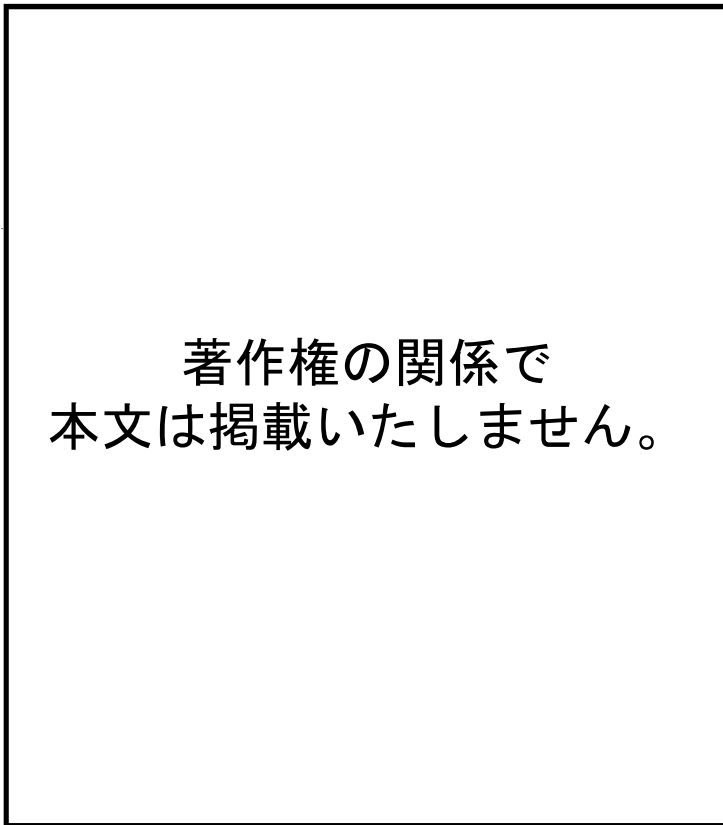
試験科目	人文科学研究科 史学専攻 修士課程《一般》・研修生	2026年度 春季	試験時間
専門科目			90分

3/3

[注 意] 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。

《東洋史分野志願者用問題》

[別掲 2] 次の文を読み、以下の問に答えよ。



問一 上の文章を現代日本語に訳しなさい。簡体字は使用しないこと。

問二 漢代画像石研究の意義と展望について記述しなさい。

法政大学大学院  
入学試験問題用紙

試験科目	人文科学研究科 史学専攻 修士課程《一般》・研修生	2026年度 春季	試験時間
専門科目			90分

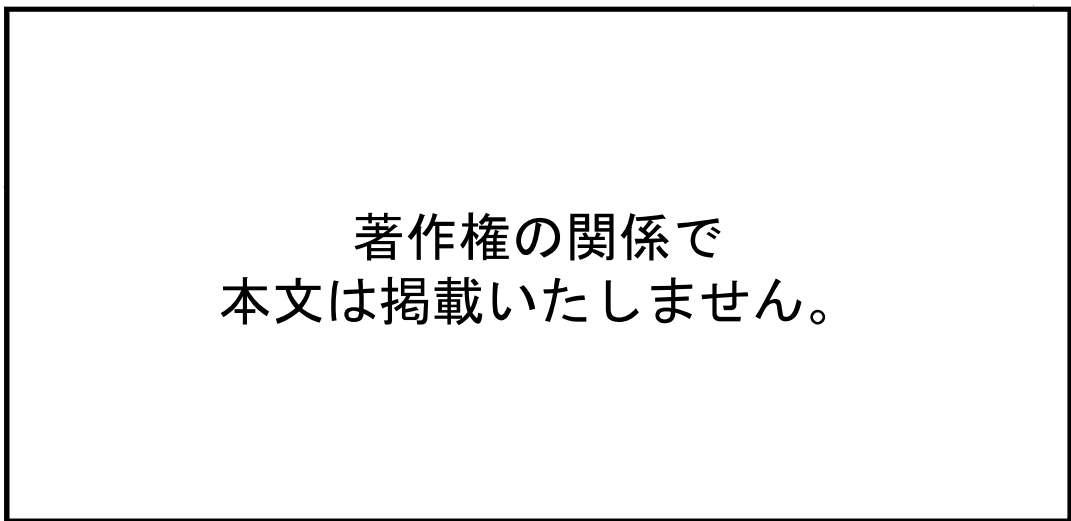
1/3

[注 意] 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。

《西洋史分野志願者用問題》

以下の問題1、問題2、問題3のうちから、自分の研究分野に関係の深いいずれか1つを選択して答えよ。解答用紙には問題1～3のいずれに対する解答かを明記し、問(1)・問(2)も自分で記すこと。

問題1 以下の英文を読んで、問(1)と問(2)に答えよ。



【出典：I. Mennen, *Power and Status in the Roman Empire, AD 193-284*, Leiden, 2011, p. 1】

問(1) 下線部を和訳せよ。

問(2) デイオクレティアヌスが主導した諸改革について、具体例を挙げながら論ぜよ。論述に際しては、各改革が対処/解消することを目指した前時代の弊害にも触れること。

法政大学大学院  
入学試験問題用紙

試験科目	人文科学研究科 史学専攻 修士課程《一般》・研修生	2026年度 春季	試験時間
専門科目			90分

2/3

[注 意] 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。

《西洋史分野志願者用問題》

問題2 以下の英文を読んで、問(1)と問(2)に答えよ。

著作権の関係で  
本文は掲載いたしません。

【出典：Mary Fulbrook, *Legitimation Crises and the Early Modern State : the Politics of Religious Toleration*, p.147, in : Kaspar von Greyerz(ed.), *Religion and Society in Early Modern Europe 1500-1800*, George Allen & Unwin, London, 1984】

問(1) 下線部(ア)を和訳せよ。

問(2) 下線部(イ)に関して、このような現象として捉えうる16～17世紀のヨーロッパの事例を一つ選んで論述せよ。

法政大学大学院  
入学試験問題用紙

試験科目	人文科学研究科 史学専攻 修士課程《一般》・研修生	2026年度 春季	試験時間
専門科目			90分

3/3

[注意] 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。

《西洋史分野志願者用問題》

問題3 以下の英文を読んで、問題(1)と(2)に答えよ。

著作権の関係で  
本文は掲載いたしません。

【出典：Simon J. Potter, *British Imperial History*, London: Palgrave, 2015, pp.46-47.】

問(1) 下線部(a)を和訳せよ。

問(2) 下線部(b)について、イギリス帝国史における「非公式帝国」の概念を、具体的な事例とともに、できるだけ詳しく論述せよ。